

一立 天童市議会だより

2005
11.1
No. 110
TENDO



10月15日、秋晴れの好天に恵まれ、田麦野小学校の8人の元気な児童のみなさんは、楽しみにしていた遠足に出発しました。田麦野小学校は、児童数の減少に伴い、平成18年3月31日をもって閉校となることが決まっています。

9
月
定
例
会

小澤精議長、長岡繁副議長を選出 …… 構成替え(P2~3)

積極的な民間委託への考えは …… 一般質問(P7~11)

遊休農地の実態や解消後の指導は …… 総括質疑(P12~15)

新正副議長を選出

9月27、30日に市議会の構成替えを行い、正・副議長の選挙をはじめ、各常任委員会委員等の選任等を行いました。

議長選挙の結果
 ○小澤 精 20票
 秋葉 忠 6票

副議長選挙の結果
 ○長岡 繁 17票
 片桐郁弥 9票



長岡 繁 副議長

副議長の仕事

事情により議長がその役割を果たすことができないときに代わって議長の職務を行います。



小澤 精 議長

議長の仕事

主として議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表する役割があります。

就任にあたって

議長 小澤 精

私は数ある議長の仕事の中で、大切なことは議会内の声を集約して、いかに執行部に伝えるか、そして執行部からは情報をいただき、もっと執行部と積極的にいろんな話をし、対等の立場で、緊張感を持った関係を構築したいと考えています。

改革が求められている昨今ですが、まずもって行動に出ることが必要と感じております。さらに、開かれた議会を目指して、与えられた2年間、議長職を務めていきたいと考えております。

副議長 長岡 繁

このたび、天童市議会副議長の栄職に就かせていただくことになり、このうえもない光栄と存じ、感激いたしております。

同時に、その任務の重大さを痛感するものであります。小澤議長のもと、議会が公正に、しかも円満に運営されましよう先輩、同僚議員の皆様

方のご支援をいただきまして、この名誉ある席を汚さないよう一生懸命努めさせていただきます。

各種委員会の構成

◎委員長、○副委員長

議会運営委員会

◎山崎 諭 ○小松善雄

秋葉 忠 伊藤和子

水戸 保 伊藤護國

佐藤正男 赤塚幸一郎

議会だより編集委員会

◎伊藤和子 ○篠原みえ子

小澤 精 長岡 繁

佐藤正男 木村竹虎

山口桂子

予算特別委員会

◎片桐郁弥 ○武田達郎

(委員は全員)

決算特別委員会

◎梅津謙一 ○奥山成也

(委員は全員)

議会選出の委員・組合議員

監査委員

水戸 保

農業委員

水戸 諭

東根市外二市一町共立衛生

処理組合議会議員

高橋 博 山崎 諭

赤塚幸一郎

天童市民生委員推薦会委員

高麗辺市郎 後藤和信

天童市都市計画審議会委員

片桐郁弥 浅井健一

小松善雄 石垣昭一

森谷仙一郎 木村竹虎

田井橋再架促進期成同盟会

委員

小澤 精 小松善雄

奥山成也 高麗辺市郎

梅津謙一 山崎 諭

佐藤正男 武田達郎

留山川ダム建設促進期成

同盟会委員

小澤 精 長岡 繁

小松善雄 木村竹虎

奥山成也 水戸 諭

伊藤護國 武田達郎

森谷仙一郎

乱川河川改修促進期成

同盟会委員

小澤 精 奥山成也

水戸 諭 伊藤護國

武田達郎 森谷仙一郎

天童東根村山線整備促進

期成同盟会委員

小澤 精 小松善雄

水戸 諭 伊藤護國

森谷仙一郎

厚生 常任委員会

社会福祉対策、保健・病院・環境衛生事業、国民健康保険事業、交通安全・防犯対策などについて審査及び調査を行います。



水戸 保 伊藤和子 秋葉 忠
青柳仁士 ◎後藤和信 ○森谷仙一郎

総務 常任委員会

行政水準の向上対策、財政運営、総合計画、広報及び公聴などについて審査及び調査を行います。



篠原みゑ子 山崎 諭 山口桂子
梅津謙一 ◎伊藤護國 ○結城義巳 小澤 精

新しい常任委員会の構成です。

議員は1つの常任委員会に所属することになっており、その任期は、委員会条例で2年と定められています。

市長から提出された議案や市民の皆さんから提出された請願などは、年4回（3・6・9・12月）開かれる定例会で各委員会に付託され、慎重な審査が行われます。

◎委員長、○副委員長

建設 常任委員会

土木事業、都市計画事業、上・下水道事業、消防救急業務などについて審査及び調査を行います。



水戸 諭 浅井健一 石垣昭一
高麗辺市郎 ◎小松善雄 ○木村竹虎

文教経済 常任委員会

教育の振興と学校管理、農林業振興対策、商工業及び観光事業の振興対策などについて審査及び調査を行います。



長岡 繁 片桐郁弥 赤塚幸一郎
奥山成也 ◎佐藤正男 ○武田達郎 高橋 博

9 月 定 例 会

平成 17 年度 9 月定例会は、9 月 5 日から 30 日までの 26 日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件 4 件及び人事案件 1 件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、決算議案 12 件、予算議案 10 件、条例議案 23 件及び一般議案 2 件については、決算・予算特別委員会及び所管の委員会に付託され、各委員会で審査されたあと、最終日の本会議で採決が行われました。また、追加議案 2 件及び議会案 2 件の審査・採決も行われました。

結果は 5 ページに掲載しています。

請願 5 件についても審査され、4 件が採択となりました。結果は 20 ページに掲載しています。

審 議 日 程

月 日	審 議 内 容
9. 5	本会議（会期の決定、議案の提案理由説明、報告案件、人事案件などの採決） 決算特別委員会（決算議案の提案理由説明） 予算特別委員会（予算議案の提案理由説明）
9. 8 9	本会議（市政に対する一般質問）
9.12	本会議（一般議案に対する総括質疑） 決算特別委員会（決算議案に対する総括質疑） 予算特別委員会（予算議案に対する総括質疑）
9.13 14 15	各委員会（分科会）審査
9.22	決算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、採決） 予算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、採決） 本会議（委員長報告、質疑、採決）
9.27 30	本会議（議会構成）

天童市議会会派構成

会派構成に一部変更があり、次のとおりとなりました。

<政和会>

浅井 健 一（会長）
水戸 善 保雄
小松 善正 男
佐藤 崎 義
山崎 城 和
結藤 村 義
後藤 山 和
木奥 高 柳
青水 戸 仁
梅長 津 謙
岡 繁

<天新会>

秋葉 忠 忠
伊藤 藤 護 國
高麗 辺 市
片桐 郁 弥
武田 達 郎
山口 桂 子

<つばさ>

赤塚 幸 幸
篠原 み 一
森谷 仙 子
谷 一郎

<日本共産党天童市議団>

伊藤 和 子（会長）
石垣 昭 一

※議長は会派に所属しない

意見書

9 月 22 日に議員提出の意見書 2 件が原案のとおり可決され、直ちに関係機関に送付されました。

▼道路特定財源制度の堅持及び道路整備予算の確保に関する意見書 〓 本県内陸部を縦断する東北中央自動車道は、一部の供用開始だけで、いまだに高速道路ネットワークの構築が図れず、高速道路の利点が享受できない状況にある。道路整備の地方の実情を十分踏まえ、道路整備をより一層促進するため、道路特定財

源は一般財源化することなく、すべての道路整備に充当すること及び平成 18 年度予算編成にあたっては、公共事業全体を一律的に削減することなく、必要な予算確保を図り、かつ重点配分することを強く要望するもの。

（衆参両議院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣あて）

▼自治体病院の医師確保対策を求める意見書 〓 少子高齢化を迎え、自治体病院は地域医療の中核として、小児医療、夜間医療等多くの不算算部門を担いつつ、医療水準の向上に努めている。しかしながら、医師の地域

偏在、診療科偏在等により地域医療を担う医師不足が深刻化している。特に、小児科や産婦人科は医師の確保が困難な状況にあり、早急に抜本的な医師確保対策を講じられるよう強く要望するもの。

（衆参両議院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣あて）



提出された議案とその結果

(市長提出議案)

議案番号	件名	議決結果
報第11号	▼平成17年度天童市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第12号	▼平成17年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第13号	▼平成17年度天童市水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第14号	▼道路管理上の瑕疵による事故に伴う損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
認第1号	▼平成16年度天童市一般会計決算	認定
認第2号	▼平成16年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定
認第3号	▼平成16年度天童市老人保健特別会計決算	認定
認第4号	▼平成16年度天童市用地買収特別会計決算	認定
認第5号	▼平成16年度天童市財産区特別会計決算	認定
認第6号	▼平成16年度天童市交通災害共済事業特別会計決算	認定
認第7号	▼平成16年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計決算	認定
認第8号	▼平成16年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計決算	認定
認第9号	▼平成16年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計決算	認定
認第10号	▼平成16年度天童市介護保険特別会計決算	認定
認第11号	▼平成16年度天童市水道事業会計決算	認定
認第12号	▼平成16年度天童市立天童病院事業会計決算	認定
議第9号	▼平成17年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第10号	▼平成17年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第11号	▼平成17年度天童市用地買収特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第12号	▼平成17年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第13号	▼平成17年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第14号	▼平成17年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第15号	▼平成17年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第16号	▼平成17年度天童市鎌ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第17号	▼平成17年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第18号	▼平成17年度天童市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議第19号	▼天童市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の設定について	原案可決
議第20号	▼天童市市民いきいの家設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第21号	▼天童市市民保養施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議第22号	▼天童市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第23号	▼天童市立のぞみ学園設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第24号	▼天童市老人保養センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第25号	▼天童市公衆浴場設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第26号	▼天童市観光情報センター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第27号	▼天童市天童高原青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第28号	▼天童市天童高原ウォーキングセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第29号	▼天童市農業者トレーニングセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第30号	▼天童市放牧場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第31号	▼天童市天童高原運動広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第32号	▼天童市ジャガラムガラ森林ふれあい広場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第33号	▼天童市森林情報館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第34号	▼天童市駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第35号	▼天童市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議第36号	▼天童市市民プラザ設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第37号	▼天童市美術館設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第38号	▼天童市立旧東村山郡役所資料館設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第39号	▼天童市文化財保護条例の一部改正について	原案可決
議第40号	▼天童市火災予防条例の一部改正について	原案可決
議第41号	▼天童市水防協議会条例の一部改正について	原案可決
議第42号	▼山形県自治会館管理組合の規約変更について	原案可決
議第43号	▼山形県消防補償等組合の規約変更について	原案可決
議第44号	▼天童市教育委員会委員の任命について	同意
議第45号	▼平成17年度天童市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議第46号	▼天童市監査委員の選任について	同意

(議員提出議案)

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	▼道路特定財源制度の堅持及び道路整備予算の確保に関する意見書について	原案可決
議案第2号	▼自治体病院の医師確保対策を求める意見書の提出について	原案可決

9月22日の本会議において次の2件について討論がありました。

▼請陳第2号老後を支える最低保障年金制度の実現を求める請願Ⅱ賛成少数で不採択

《反対》

将来の現役世代の負担を過重にならず、高齢期の生活を支える公的年金としてふさわしい給付水準の確保と、社会経済の変動に柔軟に対応できる制度の確立を目指し、年金改革法が国会で成立した。法律を中止せよとの内容で



高齢期の生活を支える公的年金（津山地区敬老会）

議会のうごき

■7月

- 13～15日 議会運営委員会行政視察（北海道江別市他）
- 16日 国会議員との懇談会（正副議長・局長）
- 20日 議会だより編集委員会
議会改革検討委員会
- 21日 建設常任委員協議会
文教経常任委員協議会
- 22～24日 共産党天童市議団行政視察（石川県金沢市）
- 26～28日 天新会行政視察（北海道滝川市他）

■8月

- 1日 総務常任委員協議会
- 5～6日 つばさ行政視察（群馬県太田市）
- 8日 市長要請全員協議会
- 17～19日 新政会行政視察（北海道帯広市他）
- 22日 各派代表者会
建設常任委員協議会
- 23～25日 清風会行政視察（東京都東久留米市他）
- 23～24日 つばさ行政視察（米沢市他）
- 29日 議会運営委員会
議会改革検討委員会

■9月

- 5日 議会だより編集委員会
- 5～30日 第3回市議会（9月定例会）

■10月

- 4日 議会だより編集委員会
- 17日 議会改革検討委員会
- 20日 議会だより編集委員会

国等に意見書を提出することは適切さを欠くものと考え、年金資金運用も法に基づき適切に運用されており、請願の願意は妥当さを欠いており、採択に反対である。

《賛成》

請願で求めるものは、「年金改革」法の実施を中止し、消費税によらない全額国庫負担の最低保障年金制度をつくること、基礎年金の国庫負担を直ちに2分の1に引き上げること及び過大な年金積立金を株式投資等に使わないで、保険料や給付の改善に使うことを求めている。年金制度の抜本改革のため

に、市民の立場に立った論議が必要であり、採択することに賛成である。

《反対》

平成16年度の地域懇談会など市民の声では、その多くは「車の交通量が増え、道幅も狭く、早く整備してほしい。」といった市民の切実な願いであり、市民にとって必要な道路整備を急ぐべきであるが、意見書は高速幹線道路の整備のみを求めている。次に、道路特定財源制度は、

ガソリン税など受益者負担の考えに基づき、利用者に負担を求めているが、その税額は国、地方合わせて年間6兆円にもなり、これを使い切るための不要不急な道路整備が膨れ上がっている。

《賛成》

道路特定財源を幹線自動車道路づくりに集中している現在のあり方を転換し、生活道路整備を重点にしたものになっていない点で反対する。高速道路の本県の供用率はわずか40%であり、東北平均62%、全国平均63%を大きく下回っている。地域格差の解消と、活力あ

る地域づくりを一層推進するためには、高規格幹線道路整備に積極的に取り組むことが必要と強く感じる。自動車交通への依存度が顕著な当地域にとって、安全で安心できる暮らしのためには市町村間道路ネットワークの形成をはじめ、生活道路整備が不可欠である。

道路特定財源制度は受益者負担の考えに基づき、道路整備のために自動車利用者負担を求めるものであり、今後とも、高速道路から生活に密着した市道等の整備まで、より一層推進していただきたいと念願して賛成する。

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、9月8日、9日の2日間の日程で行われ、16人の議員が登壇しました。

8月20日の集中豪雨や行財政改革、指定管理者制度などについて市長、教育長の見解を求めました。



町ノ地区画整理



武田達郎議員

鎮ノ町土

地区画整理

事業について

公約と現状について どう認識しているか

て、市長は当初「緑豊かな森を創造」、中心市街地における新たな観光ゾーン「観光・交流の拠点」として新たな誘客施設の導入により、既存温泉街の活性化を図るとした公約と現状を比し、どう認識されているか。

遠藤市長 鎮ノ町土地区画整理事業の整備率は、平成16年度末で86%に達している。

23街区の「わくわくランド」は、新たな「観光・交流の拠点」として、緑豊かな森を創出し、民間施設との連携を図りながら、多目的広場や噴水施設、こもれびの道等の都市公園機能を計画的に配置し、子どもたちの憩いの場や様々なイベント会場として、多くの皆さんに利用されているところである。

また、昨年11月には、「道

周辺開発



片桐郁弥議員

中心市街

地との格差を解消する

ための農村集落の土地利用について、多くの財源を投資して単価の高い宅地を造成することは今の時代に反する。

農村集落の土地利用による宅地供給が農村集落の活性化につながると思うが、市長の考えは。

遠藤市長 市街化区域については、土地区画整理事業等を中心として市街地の外縁的拡大を段階的に進めてきた結果、人口は着実に増加してきた。

一方、農村集落については、農道整備等の農林事業に加え、道路や下水道事業等の各種施

農村集落活性化のための 土地利用を

の「駅天童温泉」が開業し、駅舎である森林情報館「もり」な天童」を中心として交流の

輪が広がり、地域の活性化に結びつくものと期待している。今後とも、地域で進めている「天童の森を育む」をテーマとした活動と連動した施設整備を推進していく考えである。

土地利用を

策を推進し、農村環境の整備に努めているが、人口の減少

環境保全

住民との合意による開発を



後藤和信議員

日本の自

然は「山紫水明」といわ

れ、四季折々が織り成す色彩のパノラマがすばらしい。

景観緑三法が成立している今、環境の保全と開発について、住民との同意形成を十分行って開発すべきであるが。

遠藤市長 道路や林道、河川の整備、宅地や工業用地の造成等の各種の開発事業は、暮らしを豊かにするために必要

が続いており、市街地と農村集落との均衡ある発展が課題となっている。

今後とも、優良田園住宅制度及び市街化調整区域の地区計画制度等を活用するとともに、県住宅供給公社との連携を深め、農村集落への人口回復策を導入し、農業・農村の魅力を生かした土地利用を進めていく考えである。

な事業であるが、開発事業を行う場合に、環境保全について配慮することが必要になってきている。

国では、環境アセスメントの手続きを定め、県では、環境影響評価を実施しながら、環境悪化を防ぐこととしている。

本市においても、地区の関係者や地権者等に説明を行い、さらに、事業推進にあたっては、環境への影響について調査や評価等を行い、適正な事業計画を策定していく考えである。

8・20 集中豪雨

被害対応への

取り組みは



結城義巳議員

8月20日の集中豪雨は各地に大きな爪あとを残しました。若松寺は参拝者なども多いし、原崎山元堰を早期に改修し、災害を繰り返さないような対応を早急に。個人で対応しなければならぬところについては、利子補給などの援助を。

遠藤市長 8月20日の集中豪雨による被害は、近年まれにみる自然災害であり、予想以上の雨量であったことから、



寸断された若松寺へ向かう道路

在、県事業で改修事業を実施しており、事業の促進を強く要望していくとともに、被害箇所の復旧に対応していく。被災地の援助は、農地や山林を含めた個人が所有する財産の被害については、人命を最優先し、救出する必要があるときは、直ちにその措置を講じていく。それ以外の対応については、新潟県や熊本県の水害のとおりに、基本的に個人や地域で対応をお願いすることになる。

幹線道路などが冠水し、通行に不便をきたしたり、雨水が1箇所集中し、被害が発生した。今後は、雨水排水について計画的に整備しなければならぬと改めて考えている。原崎山元堰については、現

長岡地域の

早急な雨水対策を



長岡 繁議員

安全・安心が第一の市であるが、長

岡地域の水害は恒常的な災害であり、市の区画整理事業の設計そのものに降雨量の集中度、スピード、集中量の計算違いがあったのではないかと。

一日も早い改良工事が必要だが、市の予定はどうなっているのか。

遠藤市長 今回の集中豪雨で

は、市内の各所で冠水などがあつた。今回の災害を教訓とし、先に策定した雨水排水基本計画に基づき、排水ルートの見直しをはじめ、排水施設等の総点検を行い、実施に向けて努力していく。当面の対応として、雨水浸透マンホールの設置、透水性舗装の拡大や宅内に浸透マス設置の普及等を図りながら、雨水排水対策に努めていく考えである。

質問者と

質問事項

(☆印は会派名)

★新政会

奥山成也議員

- * 行財政改革について
- * ユニバーサルデザインについて

高橋 博議員

- * 8・20集中豪雨について
- * 市農業基本計画に基づく具体的取り組み状況は

* 地下水対応について

- * 南部学童保育所の施設整備について

★つや

篠原みえ子議員

- * 道路整備促進について
- * 子ども虐待防止対策について

森谷仙一郎議員

- * 児童生徒の心の悩み相談について

★日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

- * 都市型水害への対応について

伊藤和子議員

- * 介護保険の負担増の影響と

武田達郎議員

- * 鉄ノ町区画整理事業について

後藤和信議員

- * 自然保護と開発保全について

- * グランドワークの取り組みについて

小松善雄議員

- * 園芸生産基盤確立の課題強化策について

伊藤護國議員

- * 行財政改革について

片桐郁弥議員

- * 今後の本市の土地利用について

★清風会

木村竹虎議員

- * 指定管理者制度の導入について
- * 本市のジュニアスポーツの振興支援について

結城義巳議員

- * 市立天童病院の整備は新病院建設の「基本理念」に合致するの

- * 観光拠点施設としての鉄ノ町開発及びその地域への新たな出店計画について

- * 8月20日の集中豪雨による被害への対応について

危険箇所の

手直しへの対応は



高橋 博議員

8月20日の集中豪雨では、土石流出などの被害が出た。

現在、市内に危険地域として指定されている地域が何箇所もあるが、危険箇所の手直しへの対応をどう考えているか伺いたい。

遠藤市長 8月20日の集中豪雨では、土砂崩壊や河川の氾濫が発生し、県道、市道、林道、農道などの公共施設のほか、農地の崩壊や家屋の浸水など、市民生活に大きな被害をもたらした。



北目地域の急傾斜地

明を行い、災害に対する意識啓発を行ってきた。

引き続き舞鶴山周辺の急傾斜地に対する土砂災害防止工事の採択について、県に要望していく。

現在、急傾斜地などの危険箇所の対応については、県が作成した「土砂災害危険箇所」を関係する自治会の全戸に配布するとともに、関係者に説明

都市型水害のための

雨水排水対策の見直しを



石垣昭一議員

本市は、土地区画整理事業で市街

地の拡大をしてきた。都市化の進行によって、雨水の集積量が多くなっているが、それに見合った排水機能がない。

雨水排水計画の見直しが必要と思うが、改善方策について市長の考えを伺いたい。

遠藤市長 本市の雨水の排水については、放流先である河川管理者と協議のうえ、それらの条件に基づいて、土地区画整理事業や公共下水道事業の雨水事業により行ってきた。放流先の河川能力との調整を

その対応について町内会等の公園管理に対する支援充実について

★天新会

山口桂子議員

*市立図書館について
*公園の管理と安全への取り組みについて

山崎 諭議員

*2007年問題について
*倉津川の氾濫防止について
*「食料・農業・農村基本計画」への対応について

長岡 繁議員

*長岡地域の雨水対策について

公園管理

遊具等の整備

維持管理のあり方は



山口桂子議員

天童市の公園管理と安全について

での取り組みの中で、老朽化した遊具の維持管理、遊具の整備における新しい公園と既存の公園に格差があるのではないか。

公園管理の委託における行政サイドの取り組みと町内会の取り組みの今後のあり方について。

遠藤市長 遊具の維持管理については、職員が日常的に安全点検を行っているほか、年3回、業者に業務を委託し、専門的な見地から遊具の安

全点検を行っている。点検の際に、遊具に危険なものが発見された場合には、修理や撤去を行い、安全性の確保に努めている。老朽化した遊具については、安全性の確保を第一に考えて、計画的に更新を行っていく考えである。

維持管理の中で、大きな樹木の剪定や消毒、遊具の修理や更新、トイレの修理など、ボランティアの範囲を超えたものや、市で直接対応できないものについては、専門業者に業務を委託している。今後とも、公園の適切な維持管理に努めていく考えである。

指定管理者制度

積極的な

民間委託への考えは



木村竹虎議員

指定管理者

制度(注)を

導入するにあ

たり、現行の施設の分け方ではなく、広く公募するべきではないか。

民間企業が、健全なサービスの供給と経営が見込める事業については、積極的に民間委託または民営化を進めるべきだと思うが、市長の考えは。

遠藤市長 現在、直営施設については、業務内容を精査し、

委託できるものは業務委託し、効率的な管理運営を進めていく考えである。

今年3月に策定された国の

新たな指針では、民間委託等の推進及び指定管理者制度の活用が地方公共団体の行財政改革推進上の主要事項として掲げられている。

このため、今後、指定管理者制度の活用及び民間委託等の導入等により、市民の満足度が高まるような施設管理を進めていく考えである。

ユニバーサルデザイン

取り組みへの考えは



奥山成也議員

ユニバーサル

デザインと

は、年齢、性

別、障害の有無等、人の持つさまざまな違いに支障を感じることなく、快適に市の施設やサービスを使いやすくする

取り組みであるが、本市の取

り組みの考えを伺いたい。

遠藤市長 少子高齢化や価値観の多様化が進む中、多くの人が利用しやすいことに配慮したユニバーサルデザインが

まちづくりの導入されている。本市では、国のユニバーサルデザイン政策大綱や山形県福祉のまちづくり条例等を基

に、国のユニバーサルデザイン政策大綱や山形県福祉のまちづくり条例等を基



既に指定管理者制度が導入されているスポーツセンター

行財政改革

集中改革プランの

取り組みは

本に、公共施設、公園、市営住宅等で順次取り組んでいる。具体的には、歩道の段差や勾配の解消、更には、市営バスへの床の低い車両の導入などである。

今後とも対応可能なものから取り組んでいく考えである。

伊藤護國議員

三位一体

改革が進み、

地方自治体

の財政が益々厳しさを増す中、市はどのようなビジョンを掲げて行財政改革の集中改革プランを策定するのか。

遠藤市長 集中改革プラン策定のビジョンについては、国の新地方行革指針の内容として、

新地方行革指針の内容として、

2007年 題

大量退職者による

経済的な見通しは



山崎 諭議員

昭和22年

から24年に

生まれた団

塊の世代の人たちが間もなく定年の時期を迎える。大量に退職者が生ずることによる経済的な見通しは。また、それらの方々が蓄積してきた技術や能力を活用することについてはどのようになっているか。

遠藤市長 本市における団塊

の世代の人数は、約3200人で、全国と同様、他の世代に比べ突出している。

団塊の世代の退職による経済的影響は、社会保障分野への現役世代の負担が増えること、また、可処分所得の減少に伴う購買力等の減少により、経済活動の縮小等が予想されているが、生活必需品等への支出に大きな変化はないと見込んでいる。

定年退職者の技術・能力の活用については、市内事業所で定年後の継続雇用制度を約78%の事業所が導入済みであり、団塊の世代が持つ熟練した技術や意欲を有効に活かせるシステムが整いつつある。

者制度の円滑な導入及び定員の適正化を考えている。

集中改革プランの策定については、行財政改革推進本部を設置し、全庁的体制で取り組んでいる。また、進行管理がより重要と考えており、そのあり方を考えていく。

事務事業の再編・整理、民間委託等の推進、定員管理の適正化、経費節減等の財政効果等について、集中改革プランを策定するよう示されていることから、これらの項目を主体に策定していくことになる。この中でも、緊急性の高いものは、実施年度を早い時期に位置付けして対応していく考えであり、緊急な課題としては、指定管理

今後の利用計画は



森谷仙一郎議員

閉校が来春に予定されている田麦野小

学校の今後の利用計画は。

地域と関わり、天童高原を含めた自然とのふれあい、星空観賞など、子ども達の感性に働きかけるような新たな「合宿型教育施設」の考えなどはないかを伺いたい。

酒井教育長 田麦野小は、長い間「地域の文化、交流の拠点」として大きな役割を果たしてきた。閉校後においても、

子ども虐待防止



篠原み糸子議員

子どもへの虐待が深刻化している現状

を踏まえ、虐待を認めない社会づくりと防止策として学校教育の中に、子どもがあらゆる暴力から自分を守るための

田麦野地域の活性化と住民の心の拠り所として、青少年の自然体験学習やスポーツ少年団の合宿練習等の活用をはじめ、グリーンツーリズムの拠点としての体験宿泊施設、地域防災施設や福祉関連施設としてなど、多方面から鋭意検討しているところである。

「合宿型教育施設」も含めて検討していくが、施設活用の内容によっては、教育補助金の返還や施設の改修費も必要となり、年内には一定の方針を出す考えである。

の導入は

「CAPプログラム」

教育プログラムである「CAP」子ども（C）への暴力（A）防止（P）教育の導入を考えるとどうか。

酒井教育長 「CAPプログラム」とは、子どもたち自身が、暴力から自分を守るための教育プログラムで、米国で



今年度で閉校となる田麦野小

開発されたものである。

本市では、これまでも教職員を対象に虐待などの問題を抱える児童生徒への指導のあり方の研修などを行ってきた。

学校教育の中で、他人を思いやるなどの心の教育は、学校生活のあらゆる場面で進んでいる。「CAPプログラム」については、子どもによる虐待防止の一つの方法として今後とも検討していくべき課題と考

産立 生確 芸盤 園基

果樹生産振興への方策は



小松善雄議員

年々温暖化現象と異常天候にある中、

特にさくらんぼの品質低下、

介護保険

制度改正による影響は



伊藤和子議員

10月1日

から介護保険制度が改

正され、介護施設入所者の居住費・食費が自己負担となり、負担が大きく増える。利用者への影響は。利用者や介護事業所への内容の周知と低所得者への軽減措置の周知をどう図られたのか。

遠藤市長 10月1日からの施設利用者負担の改正は、居住費と食費を保険給付の対象外とするものである。制度の実施により、低所得者にとって過重な負担にならないよう所得状況に応じた負

担軽減が図られている。内容の周知については、市内の施設サービス事業所に対し、利用者負担制度についての個別相談等を行っており、ケアマネージャーへの説明会も開催するなど、きめ細かな対応を行っている。

図るため、事業の積極的な継続と独自支援を講ずるべきと思うが、市長の考えを伺いたい。
遠藤市長 さくらんぼ生産拡大緊急対策事業は、既存の雨よけハウスを改造して無加温ハウス栽培を行う県の新規事業である。本市では、市内の生産団体等を通じて事業実施の周知を図っている。

また、本市では他市に先駆け、平成16年度から雨よけハウスの整備に対する資金の利子補給を市単独事業として実施している。
今後とも、安定生産を図るための諸施策を検討していく考えである。

総括質疑

総括質疑は、9月12日に行われ、各常任委員会から12人の議員が、一般議案、決算議案、予算議案に対する質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

財政運営

基金積立金が

多すぎないか

結城議員 一般会計決算において、歳入欠陥が多く見られるが、予算管理に問題はないか。また、年度中の財政調整基金等への積立金が多すぎないか。決算収支も6億円を超える黒字である。これは、家庭に置き換えると貯金を多くし、なお多額の残金でた状況で、財政運営に問題はないか。

は歳入欠陥の状況ではないと理解している。財政調整基金、に積み立てるものであり、理解をいただきたい。

天童高原

放牧場、運動広場を 市直営で行う理由は



天童高原放牧場は市直営で管理

伊藤（和）議員 天童高原青少年旅行村及び天童高原ウォーキングセンターの管理を指定管理者制度に移行するのに対し、天童市放牧場及び天童高原運動広場の管理を市直営で行う理由は。また、牧野公社の今後の運営方針を伺います。

国井経済部長 放牧場については、市が直営で管理し、牧野公社が放牧場を使用して行う草地管理を含めた放牧事業

市民墓地

整備事業費の内訳は

奥山議員 市民墓地整備事業費3045万円の内訳はどうなっているのか。

るために今回の補正となった。工事の内容は、墓地271区画の整備とあずまや1基、水屋2

秋葉市民部長 平成16年度に、第一次、第二次の整備で、229区画の市民墓地を整備したが、市民から多数の応募があり、その需要に応え

道路工事約70㍓、側溝工事約121㍓などの整備とキンモクセイやドウダンツツジなどを植栽するものである。

質疑者一覧

- ★文教経済常任委員会
 - 山崎 諭、森谷仙一郎
 - 山口桂子
- ★総務常任委員会
 - 小松善雄、石垣昭一
 - 赤塚幸一郎
- ★建設常任委員会
 - 奥山成也、伊藤和子
 - 結城義巳
- ★厚生常任委員会
 - 佐藤正男、篠原みゑ子
 - 木村竹虎

全体に対して補助金を交付することが、行政の責任を明確にし、経費の節減を含め、より機能的な事業展開ができるものと判断している。

安全性を確保するため直営とすることが、行政の責任を明確にし、経費の節減を含め、より機能的な事業展開ができるものと判断している。

実態と解消後の

定着指導は

ただいて、毎年行っている。

石垣議員 遊休農地解消推進事業補助金について伺います。耕作放棄地が年々増大しているが、どう解消されているのか。遊休農地の実態と解消後の定着指導はどうしているのか。併せて補助内容について伺います。

平成16年度中に発生した遊休農地の面積は、約4.6畝で、解消した面積が7.4畝である。平成16年度末で全体では、18.2畝が確認されている。遊休農地解消事業については、継続して実施しており、新たな遊休農地の発

生はあるが、それと同程度の解消面積があり、ここ数年、実態はほぼ横ばい状態である。

遊休農地が解消した後、再遊休化を防ぐため、農業委員等が借り手を探し出して、そこに借り手の方が苗木などを植えて事業を完了する流れとなるが、伐根や整地費用として、10万円当たり7万円を限度として補助を行っている。

今野農業委員会事務局長 遊休農地の実態調査は、農業委員はもちろん、各実行組合長、地元の農業関係者の協力をい

自主防災組織

活動における事故に 対する保障は

木村議員 自主防災組織の活動で、訓練及び災害時において、直接生命に関わる等の事故が想定されるが、その保障はどうなるのか。市では、自主防災組織の活動を要する事態をどう判断するのか。市からの出動要請はその都度行われるのか。

山口消防長 現在の自主防災組織の組織数が69で、世帯数の組織率から見ると86%強と

いう状況になっている。防災体制の強化は、防災機関の体制整備のみならず、地域住民が連携して、地域ぐるみの防災体制を確立することが重要であると考える。自主防災会

には、出火の防止、初期消火、情報の伝達、避難誘導などについて、自主的に組織的な防災活動を行っていただきたいと考えている。

また、年に1〜2回程度、

臨時職員

療養補償費のあり方を どう考えるか

山口議員 総務管理費、臨時職員等給与費の療養補償費

250万円は、何に支払われたものか。今後、臨時職員の療養補償費のあり方について

は、どのように考えていくのか。

名佐原総務部長 今回の療養補償費は、公園管理業務に従事していた臨時職員が作業中

に骨折し、入院治療したことに伴う公務災害としての補償費である。公務災害にかかわ

る医療は、自主診療となり、社会保険が適用にならず、全額支払う必要があり高額の療養費となった。

正職員については、公務災害補償基金への加入などにより、救済措置があるが、臨時職員の問題は、天童だけでなく各自自治体に共通した問題であり、抜本的な取り組みが必要であると考えている。

初期消火等の訓練、地元消防団との連携による災害情報の伝達や避難等の訓練指導を行っていききたい。

自主防災会は自主的な活動であり、活動するための資機材等について補助金の助成を行っている。災害時の事故保障については、一般協力者として保障される保険に加入している。



遊休農地の実態調査は毎年行っている



自主防災会も参加し、市総合防災訓練を実施（南部小）

堆肥の利用促進の

手立ては

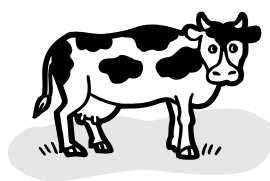
対象となる飼育頭数10頭以上の農家について、平成16年度に県単独事業で5棟、市単独補助事業で1棟の堆肥舎の整備を行った。これで、対象となる34の農家の対応が全部終了した。事業の効果としては、今まで野積みされていた堆肥の適正な管理が行われることにより環境保全がなされている。また、堆肥の供給が可能な畜産農家を中心に、地域ごとに堆肥利用組合の組織化を図っており、畜産農家と耕種農家が連携した形で、循環型農業を目指す取り組みについて、精力的に話し合いを進め、実現に向けて努力している。

佐藤議員 家畜排せつ物法が昨年11月1日から完全実施された。対象となる畜産農家はすべて完全移行したのか。対応内容を含めてお示しください。また、堆肥の利用促進のため、どのような手立てを考えているのかお伺いいたします。

国井経済部長 家畜排せつ物法が全面適用されたのを受け、堆肥の野積みが禁止されたが、

消防指令センター

整備更新に伴い どのような効果があるか



森谷議員 平成16年度重点事業の高機能消防センター総合整備事業で消防指令センターを更新した結果、緊急対応を要する市民及び消防署員、消防団員に対する効果はどのように上がっているか。

山口消防長 高機能消防指令センターは今年の2月から稼働しているが、更新した効果は、①新たに導入した発信地表示装置により通報者の住所、

氏名、場所などが瞬時に検索できる。②音声合成装置により、119番通報者と会話をしながら、出動まで、迅速かつ的確な出動指令が出せるので、出動時間の短縮が図られる。③携帯電話のメール回線が整備され、消防署員、消防団員等への一斉メールにより、非常召集及び災害事案の速報提供が可能となった。④テレホンサービスが13回線から

400回線に増設され、同時に多くの市民へ災害情報を提供することが可能となった。このような設備の充実で、

基本設計業務委託の

目的は

赤塚議員 市立天童病院の基本設計業務委託料は、どのような目的で誰に委託されたのか。また、地質調査委託料は、現在と同じ場所に建設するのに必要があったのか。さらに、用地買収に係る移転補償費算定業務委託料の金額の根拠について伺います。

秋葉市民部長 基本設計の作成に関する業務委託は、プロ



17年2月から稼働の消防指令センター

ポーザル方式により業者を選定し、基本設計説明書、基本設計図、概算工事費内訳書等を作成した。今年度は実施設計を進めているところである。地質調査については、設計の前提として地下の状況をつぶさに調査し、これをもとにして設計するため、病院建設予定地について、深さ80㍓のもの1カ所と30㍓のもの2カ所のボーリング調査を行った。移転補償費の積算は、専門的な知識を持った業者に委託し、建物の調査や立ち木の大きさなどについて、精度の高い調査が必要であることから、国の基準に基づき、移転補償費の算定業務委託料を決定し、調査を行ったものである。

支援情報などの通信体制が、これまで以上に迅速かつ的確に行われるようになり、その威力を大いに発揮している。



家畜排せつ物法により堆肥舎を整備（二子沢地区）

改正に伴う対応の内容は

篠原議員 住宅用火災報知器等の設置義務化の目的と推進目標は何か。既存住宅に関して、条例改正に伴い、対応しなければならぬ具体的内容とその施行期日は。また、報知器等設置の場合、特に高齢者、障害者等の世帯への支援対策はあるか。

山口消防長 近年、住宅火災による死者数が増加傾向にあるため、住宅火災の予防推進

と火災を早期発見し、死者数の低減を図ることが設置の目的である。推進目標については、すべての住宅に住宅用火災報知器の設置または維持が義務付けられている。既存の住宅への設置については、平

成23年5月31日までの5年間の猶予期間がある。新築の住宅については、平成18年6月1日から対応される。高齢者、障害者等への対応については、これまでの緊急通報システムがあるが、なお一層関係部署間の連携を密にしながら取り組んでいく。設置費用の支援等については、関係機関と打ち合わせもあり、研究していく。

人事行政状況

条例設定による公表の内容は

山崎議員 職員の任免、職員数の状況及び給与の状況等は、

表を行い、透明性を高めていくものである。

これまでも市報で公表されているので理解できるが、懲戒処分や服務、研修、勤務成績の評定の状況などは、どのように公表されるのか。また、国や他の自治体と比較できるようなものになるのか。

公表は、市広告式条例に基づく掲示場への掲示、市報への掲載、インターネットによる閲覧の3つの方法がある。公表の時期については、各自治体に委ねられていることから、紙面での比較は困難であるが、比較できるものについては、可能な限り比較して公表したい。また、国の通達により公表の様式が示されているが、総務省のホームページ

名佐原総務部長 地方公務員法の一部改正により、地方公務員の給与や定員管理、勤務状況などについて、市民に対して、さらに多様な内容の公

表を行い、透明性を高めていくものである。

降ひょう被害

救済に対する

補助金支出の基準は

にリンクできるようにシステムを開発中であり、職員の給与、定員管理等については、

全国各自治体の情報等の閲覧が可能となる。

小松議員 平成17年5月27日、6月4日両日の突然の降ひょうにより、市内南東部地域の農作物に甚大な被害があった。現場では、経済的危機感を切実に強く訴えている。被害状況の調査の集計と補助金支出の基準、根拠はどうか伺いたい。

は、県の基準と同額の3分の1を補助し、合わせて3分の2の農薬購入費を補助しようとするものである。また、特別防除の薬剤費については、天童市農協と豊栄青果物協同組合の2組合を事業主体として、被害農家の果樹園に散布した農薬費を今回補正するものである。

國井経済部長 被害は、高楯、荒谷、干布を中心に、桜桃や西洋なし、りんごなどの果樹全体の被害面積が299ha、減収量が1187ト、被害金額が5億5900万円となっている。

被害対策として、県では市が補助することを条件に、農業協同組合または農業者が組織する団体が降ひょうの防除のため、新たに購入した農薬（殺菌剤）の経費の3分の1を補助する予定である。市で



果樹の降ひょう被害は299haにのぼった

住宅用に火災報知器の設置が義務づけられる



予算特別委員会

平成 17 年度一般会計

6 億 35 万 1,000 円を
追加補正



271 区画を新たに造成（市民墓地整備事業）

市民墓地第二期整備工事費の計上や市道天童高原山口線工事費の増額補正、農業センター改築工事費、降ひょう対策のための農薬購入経費に対する助成など、合せて6億35万1000円を追加する一般会計補正予算と各特別会計補正予算8件及び平成17年度水道事業会計補正予算は、予算特別委員会に付託され、各分科会で審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

各分科会の審査の主なものは、次のとおりです。

総務分科会

アスベスト検査の

進行状況は

委員 庁舎施設維持管理費のアスベストの検査の進行状況について伺いたい。

財政課長 現在、数箇所についてアスベストの検査委託を進めており、9月末には検査結果が出揃う見込みである。
委員 全体の結果が取りまとめられた時点で、議会や市民

に対して速やかに説明してほしい。

厚生分科会

交通災害共済

事業の運営は

委員 交通災害共済事業について、今後とも事業を継続するのかどうかなど、これまでもいろいろと論議されてきた経過があるが、その考え方はどうなのか伺いたい。

生活環境課長 現在の交通災害共済への加入率は、35%前後である。基本的に、一定程度の加入率があり、事業の運営が可能な状態であれば、継続した方がよいと考えている。

建設分科会

市営住宅

雪止め工事の内容は

委員 市営久野本住宅1号棟から7号棟の雪止め設置工事を行うが、その他の市営住宅の落雪の危険性は。

建設課長 植栽部分への落雪

一般会計補正予算 (第3号)のあらまし

補正額 6億35万1千円
予算総額 180億7,852万8千円

◆主な内容

(単位：千円)

財政調整基金元金積立金	351,919
減債基金元金積立金	100,000
生活保護事務諸経費	5,497
市民墓地整備事業費	30,450
農作物災害（降ひょう）対策事業費補助金	1,585
農業センター改修工事費	3,024
防衛施設周辺道路整備事業 （市道天童高原線）	15,750
老野森土地区画整理事業特別会計操出金	23,100
都市計画公共下水道事業特別会計操出金	41,460
自主防災組織育成事業補助金	5,566
公民館施設整備事業費	5,000

の可能性はあるが、出入口部分への落雪の心配はなく、入居者への危険性はない。

文教経済分科会

先進地視察の

内容は

委員 西沼田遺跡の懇談会委員の先進地視察の内容は。

文化振興課長 交通手段は市のバスで、かやぶきの管理が優れているという岩手県の御

所野遺跡。もう1カ所は、NPO法人が組織され、うまく運営がされているという東京の長池公園自然館を予定している。今後の西沼田遺跡の管理、運営に活かしたいと考えている。





18年度から開園時間が延長されるのぞみ学園

指定管理者制度

移行に向けて施設管理に関する関係条例を可決

常任委員会

天童市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の決定についてをはじめ、天童市市民プラザ設置及び管理に関する条例の一部改正についてほか、指定管理者制度への移行に関連する一般議案など25件は、所管常任委員会に付託され審査されました。主なものは、次のとおりです。

厚生常任委員会

のぞみ学園の

開園時間は

委員 市立のぞみ学園の開園時間等はどうなるのか。
健康福祉課長 今回の条例は、地方自治法の一部改正に伴って施設の管理を指定管理者制度に移行するためのものだが、保護者等の要望にできるだけ応えるため、従来の午前9時から午後1時までの開園時間を2時間延長し、午後3時までとし、利用日も、従来の週

教育委員に 東谷信昭氏を任命

現教育委員の土屋完治氏が平成17年9月30日をもって任期満了となることから、後任として東谷信昭氏(49歳・山口)を任命することに同意しました。

文教経済常任委員会

3日の利用から週5日に変更するものである。

市立学校設置条例の 一部改正について

委員 田麦野小の開校後は、児童のスクールバスの考えは、**教育次長** 現段階では、市営バスの利用を原則としたい。市営バスで時間帯が合わないなど、不都合な場合、タクシー等の利用を考えている。これまで第二中学校に通学している生徒たちと同様に考えている。

追加議案

災害復旧予算

7,538万8,000円を計上

9月30日の本会議において、去る8月20日の集中豪雨被害に伴う災害復旧に係る予算として、7,538万8,000円を追加補正する平成17年度天童市一般会計補正予算について、審議の結果、原案のとおり可決されました。

主な内容は、農道の復旧をはじめ、水晶山1号線等の林道復旧、土木関係では、市道の復旧をはじめ、古瀬川の護岸補修・堆積土砂撤去、高滝不動線の復旧、天童公園法面保護、長岡地内の排水対策などに要する経費が主なものです。

平成16年度水道事業の概要

◆ 経営	
当年度純利益	175,597,493円
当年度未処理分利益剰余金	176,580,169円
◆ 業務 (前年比)	
給水件数	22,743件 (0.97%増)
給水人口	62,455人 (0.10%減)
一日平均給水量	20,951 m ³ (1.43%減)
普及率	98.5% (-)
有収率	89.1% (1ポイント増)

平成16年度市立天童病院事業の概要

◆ 経営	
当年度純損失	73,569,598円
当年度未処理欠損金	469,574,158円
◆ 業務 (前年比)	
入院患者数	16,967人 (5.5%増)
外来患者数	57,071人 (1.8%減)



地区ミニドック実施など保健事業を推進

決算特別委員会

一般会計

歳出 192 億 4,844 万 8,000 円

を認定

国においては、三位一体の改革が本格化しているが、財政改革の行方が不透明であり、もう一歩進んだ行財政改革への取り組みを要望するなどの監査委員の決算審査意見書とともに、平成16年度一般会計決算、国民健康保険などの特別会計決算9件及び企業会計決算の合計12件が提出されました。

これらの議案は、決算特別委員会に付託され、各分科会審査のあと、本会議において賛成多数で認定されました。各分科会審査の主な内容は、次のとおりです。

文教経済分科会

家畜排せつ物適正

処理事業の実態は

委員 家畜排せつ物適正処理事業の実態と市の指導はどうだったのか。

農林課長 牛10頭以上の畜産農家については、法に対応できる施設を整備した。10頭以下の農家は農協等で巡回指導を実施しながらシートで覆っている。

総務分科会

地価鑑定委託料

の内容は

委員 標準地地価鑑定委託料の具体的な内容は、

税務課長 平成18年に行われる固定資産税の評価替えに伴い、評価額の基本となる地価を決定するために、市内277カ所の標準宅地について、



中心市街地の地価は年々下がっている

施設整備基金の

用途は

委員 市有施設整備基金元金積立金について、寄付者の意向に沿っているのか。また、今後の施設整備基金の用途についてどう考えているのか。

財政課長 天童南部土地区画整理組合と北目土地区画整理組合から、都市施設の整備にという事で寄付をいただいたが、具体的な使い道までの意向は示されなかった。これからの積立金の用途については、市有施設全般についての整備を考えているが、三カ年実施計画や予算編成を進める中で、計画的に支出していく予定である。

監査意見（抜粋）

もう一歩進んだ行財政改革の推進を

- ・ 審査に付された各会計の決算及び付属書類は適正である。各基金も、設置目的に沿って運用されており、適正と認められた。
- ・ 普通会計の歳入について、減少傾向にあった法人市民税は、一部大企業の業績回復により増加しているが、法人全体としては未だ回復基調とは言えない。
- ・ 個人市民税については、前年度に比べ3.3%の減となり、個人所得は減少しており、個人消費が伸びない要因となっている。
- ・ 市行政改革大綱に基づき、継続的に事務事業の見直しを図った結果、人件費等の経費の削減が321,902千円と、その効果がみられた。
- ・ 国では財政改革、特に三位一体の改革が本格化し、平成16年度分も含め概ね3兆円規模の税源移譲と補助金改革が予想されており、市の財政に影響してくると思われる。
- ・ 国の今後の財政改革の行方が不透明であり、もう一歩進んだ行財政改革に邁進するよう要望する。

建設分科会

空き地を利用した 排雪は可能か

委員 除雪委託に関し、空き地への排雪の可能性は。
建設課長 市内5カ所に排雪場を設置した。後片付け費用は、1カ所当たり数百万円である。民間の空き地等への排雪対応は、難しい。

鉾ノ町保留地 処分の内容は

委員 処分した保留地の場所はどこか。
都市計画課長 23街区及び市道温泉原町線沿いの保留地を処分した。なお、残りはアンジェリーナ南側など26カ所、約10億円である。



保留地の処分がまだ残っている（鉾ノ町）

平成16年度 一般会計、特別会計の決算額

(単位：千円)

	歳入	対前年比	歳出	対前年比
一般会計	19,859,650	1.4%増	19,248,448	0.2%増
特別会計	17,471,527	1.3%増	17,243,447	1.2%増
国民健康保険	5,075,434	2.1%増	4,993,333	2.2%増
老人保健	5,839,983	1.5%増	5,840,870	2.0%増
用地買収	10,559	91.0%減	4,068	96.4%減
財産区	2,040	2.0%増	1,290	27.8%増
交通災害共済	20,339	81.5%増	14,756	73.3%増
都市計画公共 下水道	2,964,366	1.3%増	2,926,196	1.4%増
老野森土地区 画整理	489,000	10.1%減	473,270	12.4%減
鉾ノ町土地区 画整理	454,697	1.4%増	442,223	0.3%増
介護保険	2,615,109	5.4%増	2,547,441	4.4%増



ごみ減量化を推進しているクリーンピア共立

厚生分科会

ごみ減量化と なった要因は

委員 3市1町共立衛生処理組合（クリーンピア共立）についてだが、平成15年度と比較すると16年度は、3.9%のごみ減量化となった。その直接の要因は、ごみ袋の値上

げだと考えているか。

生活環境課長 16年4月から行われたごみ袋の値上げもひとつの要因として考えられるが、市民生活の中で、ごみ分

討論

認第1号平成16年度天童市一般会計決算について、決算特別委員会では認定すべきとの報告でしたが、10月22日の

本会議で反対、賛成の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

《反対》

住基ネットについては、全国13の地方裁判所に差し止め訴訟が提訴されている。市民の安全性が守れる保障はなく、国民総背番号制につながる危険性ははらんでおり認められない。3市1町共立衛生処理組合関連で、ごみ袋が倍に値上げされ、受益者負担は当然と市民に押しつけ、ごみの収集処理を有料化することは看過できない。

鉾ノ町地区観光施設立地促進奨励交付金について、支出

別によるリサイクルへの理解やごみ減量化への意識が少しずつ浸透してきたのではないかと考えている。

した交付金が生きていない現状をみると無駄遣いだったのではないか。

より一層の市民の願いに沿った市政運営を求め反対の討論とする。

《賛成》

厳しい財政状況の中であるが、第5次総合計画の実現を図るため、学びの里天童21事業をはじめ介護認定者実態調査や商店街共通ポイントカード事業などに意欲的に取り組まれました。また、市民墓地整備事業、天童病院新築事業、知的障害者支援事業など多くの重要事業が実施された。

地方財政がますます厳しさを増している今日、健全財政を堅持し、行財政改革に極力配慮しながら、社会資本の整備や市民福祉の充実を図るため、各種の施策を積極的に推進したものと理解し、賛成する。

市民の声

市議会傍聴は初めての経験でした。少々息を切らした階段を上り席に着きました。が、議場は市の重要な政策を決定する場にふさわしく、厳粛な雰囲気を漂わせていました。「公の施設」に勤務する私のその日の目当

は、指定管理者制度に関する一般質問でした。丁度、当日の新聞には、山形市の方針が報じられていました。天童市では、41の「公の施設」のうち17施設が外部に管理を委託する考えであることが、当日の質問からわかりましたが、山形市のように管理者を公募する施設数や既存の団体等に委託する施設数については、話題になりませんでした。私益よりも公益を優先した施設の利用を可能にすることが、市民の税金で建てた「公の施設」の設置の趣旨

市民の目線に立って

齋藤俊昭（温泉）

に叶うことであり、指定管理者の決定に当たっては、市民の目線に立って考えていただきたいと思つたところです。ジュニアスポーツの振興についての質問もありました。天童市の子ども達は、パイオニアレッドウイングスなどの一流のプレーに接することができ恵まれた環境にあります。このような地の利を生かした特色あるスポーツ振興策を基に、活発な活動が行われることにより、一層明るく逞しく健やかな市民が育成されることと、わがまちで育つたアスリートがオリンピックをはじめとする国際大会で大活躍する日が一日も早く来ることを心から願っております。

初々しさが感じられる若手議員も、経験豊かなベテラン議員も十分な事前準備のもとに質問や意見を述べる姿を拝見し、大変頼もしく感じたところです。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は5件（内継続審査1件）で、所管常任委員会で審査したあと、次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
市道天童温泉・原町線の拡幅整備（一部新設）についての請願	原町契約会長 水戸部光昭 下貫津町内会長 赤塚長一郎	建設	採択
水害対策についての請願	蔵増地区水害を考 える会 会長 結城助一	建設	採択
倉津川の断面積拡大について要望を求める請願	蔵増地区水害を考 える会 会長 結城助一	建設	採択
樽川排水樋門に排水機場設置について要望を求める請願	蔵増地区水害を考 える会 会長 結城助一	建設	採択
老後を支える最低保障年金制度の実現を求める請願	全日本年金者組合 山形支部 支部長 武田道隆	厚生	不採択



請願審査に先立ち現地確認（樽川）

編集後記

議会の構成替えに伴い、議会だより編集委員会も新たなメンバーとなりました。2年前に行った市民アンケートを基に、文字を大きくしたり、特集記事を組むなど改善に努めてきました。議会活動をわかりやすく伝えるという議会だよりの使



◆新編集委員
委員長 伊藤和子
副委員長 篠原みゑ子
委員 小澤 精
長岡 繁
佐藤 正男
木村 竹虎
山口 桂子

命を果たせるよう、また、市民に親しまれる紙面づくりに、委員一同さらに努力してまいります。よろしくお願いたします。